

新基地事業費示せず

予算超過指摘に中谷氏

【東京】中谷元・防衛相は29日の参院外交防衛委員会、名護市辺野古の新基地建設にかかる総事業費について「現時点で確たる額を示すのは困難」との考えを示した。民進党の藤田幸久氏への答弁。

谷氏は「施設の仕様や構造などを日米間で調整し、具体的な設計を経て決定することに加え、現場の状況などに応じて所要額が変動するため」と説明。

2015年度末までの支出見込み額を含め、環境影響評価に関する事業費で約50億円、埋め立てに伴う仮設工事で約53億円増額されていると説明した。

藤田氏は、関係全事業で14年度末までの支出済み額と15年度予算額(契約ベース)、16年度予算額(同)が計2811億円に上っており、残りは689億円しかない」と指摘。15年4月の日米安全保障協議委員会(2プラス2)で、辺野古沖を「唯一の解決策」とした理由の一つに挙げた「財政上の根拠を示す資料を同委員会に提出するよう求めた。

藤田氏は、防衛省がこれまで説明してきた「3500億円以上」を大幅に超過する恐れがあると指摘。中